



2019年12月24日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 デ イ ト ナ  
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 織 田 哲 司  
(証券コード 7228、東証 JASDAQ )  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 杉 村 靖 彦  
(TEL 0538-84-2200)

## 連結子会社における2019年12月期の棚卸資産過大計上についてのお知らせ

この度、連結子会社の株式会社ダートフリークにおいて、棚卸資産の計算に誤りがあり、2019年12月期の連結決算について、第2四半期末および第3四半期末の棚卸資産が過大に計上されている可能性があることが判明しました。

株主、投資家および関係者の皆様には、ご迷惑とご心配をお掛けしますこととお詫び申し上げると共に、現時点で判明している内容と今後の対応につきまして、下記の通りご報告いたします。

### 記

#### 1. 現時点で判明している内容

連結子会社の株式会社ダートフリークにおいて、期末に実施した実地棚卸の結果を精査中に棚卸資産の計算プログラム設定の誤りを発見いたしました。誤った設定の影響は、第2四半期以降の棚卸資産の金額算定に出ております。現在、棚卸資産の正しい金額を再算定中ではありますが、2019年12月期の第2四半期末の累積で約3千万円、第3四半期末の累積で約7千万円程度が過大計上であると推定しております。

#### 2. 通期業績への影響

2019年11月7日に公表した「2019年12月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」において公表した通期の連結業績予想の金額に対して、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がそれぞれ7%～9%程度減少すると現時点で想定しております。

#### 3. 今後の見通し

現在、修正した計算プログラムで棚卸資産の金額を再算定中です。金額が確定次第、会計監査人による監査手続き等を経た後、2019年度の第2四半期決算および第3四半期決算について、訂正して公表する予定です。

また、今回発生した事象については、親会社である弊社の監査役、内部監査室、システム担当者等で編成する社内調査チームにより、原因究明、再発防止策等の策定を進めてまいります。